



文部科学大臣の所信に対する質疑

通常国会が開かれてから補正予算や本予算の議論が集中的に行われており、委員会の議論がやや低調ではありました。3月から4月にかけて各委員会ともに担当大臣の所信を伺い、それに対する質疑を行いました。更に法案などが提出されている委員会は、それに対する質疑も行いました。山本ともひろが所属している文部科学委員会においても3月27日（水）に大臣の所信に対する質疑が行われ、山本が与党を代表し、質問に立ちました。要点は、以下の三点、①少人数学級の導入に関して、②全国学力・学習状況調査に関して、③土曜日授業に関して、でした。質疑の内容を要約し、本紙でお伝えいたします。

●山本ともひろ（以下、山本）大臣の所信に“少人数学級の推進”がありました。大変良いことだと思います。私は、幼いころよりボーイスカウトを続けておりまして、創設者のベーデン・パウエルが著書「Aids to Scoutmastership（隊長の手引き）」の中で一人の大人が一人一人の子供達に向き合うのには32人が理想的ではないか、と述べています。大臣も教師が子供一人一人と時間をかけて向き合える環境を整える、と述べておられます。今は、小1は35人と決められていますが、小2～6、中1～3も全国一律に公立学校では決めていただきたいと思います。

○下村文科大臣（以下、下村大臣）ボーイスカウトにもっとたくさんの子供達が参加できることが教育にとっても望ましいと思っており、まずはエールを送らせてください。32人というのは初めて聞きました。文科省の35人は40人から少しでも少なくし、子供一人一人に教師の目が行き届くように。そして、きめ細かく対応できる環境を整備していく努力が必要だと思います。

くように。そして、きめ細かく対応できる環境を整備していく努力が必要だと思います。

●山本、大臣が35人学級を進めていくとのお話をいただき大変心強いです。ただ、小人数学級を推進すれば、教員を増やすなければなりません。教員を増やすには、基礎定数と加配定数があり、本来、

基礎定数を増やすべきですが、近年、加配定数でやりくりしているようですが、教育を司る文部科学省としては、いささか筋が違うのでは？正しいことは正しいと正々堂々と基礎定数で教員を堂々と確保していただきたい！

○下村大臣、ご指摘の通りです。必要な教員の定数を基礎定数化する。そのためにも義務標準法の改正が必要です。ただ、財源の問題で、財務省の理解が得られないことがあります。しかし、文科省として、原理原則として義務標準法の改正を行うことはご指摘の通りだと思います。そういう方針にのっとってやってまいりたいと思います。

●山本、学校では、定期テストなど普段からテストを行っていますが、全国学力調査テストを行う目的はどこにありますか？

（ウラ面へつづく）



【衆院文科委員会で大臣所信に質疑する山本】

参院選の公認候補が決定！ 医職住

島村 大
さん
だい

自民党神奈川県参議院選挙区
第3支部長 齢科医師

2つの全力！

社会保障制度の再起動に全力！

人づくりの再起動に全力！

日本一の神奈川に。

プロフィール

昭和35年8月11日生まれ 52歳

○東京歯科大学 卒業

○横浜ビジネスパーク歯科クリニック 開業

○神奈川県歯科医師連盟理事長

○日本歯科医師連盟理事長 など歴任

○党参院神奈川県選挙区第3支部長 就任

政治家って普段何してるの

誰もが疑問に思うこと！その疑問に山本ともひろが、twitterとFacebookを使いお答えします。そこには、普段考えもしなかった政治家の活動や苦悩があります。アクセス、フォローお待ちしております。



twitter
@ty_polepole



facebook

facebook.com/ty.polepole

山本ともひろ

プロフィール

昭和50年(1975年)生まれ 37歳 鎌倉在住

○関西大学 卒業

○京都大学 大学院 修了

○(財)松下政経塾 卒塾 (21期)

○米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て

○平成17年(2005年)衆院選 京都2区(近畿) 初当選

○平成24年(2012年)衆院選 神奈川4区(南関東) 2期目の当選

○平成24年(2012年)衆議院 文部科学委員会 理事



《オモテ面からのつづき》

○谷川副大臣、全国的な学力や学習状況を把握し、国の政策や教育委員会の取り組みの改善、教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。教育についての継続的な検証改善サイクルを確立することにあります。

●山本、ご答弁いただいた目的ではない社会的影響が出てきている、との指摘があります。例えば、学力調査の結果、学校間での不要な競争が生じる、地域のなかで学校の序列化が進んでしまうなどの懸念・指摘がありますが?

○谷川副大臣、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮することが必要です。調査結果の公表は、結果の分析を踏まえ、改善方法を合わせて示し、序列化につながらないよう十分配慮します。

●山本、どの分野でもデータを蓄積することは大事だと思います。その信憑性を高くするために定点観測も大切です。全国学力調査を悉皆(全員の意)で受けてもらって教育の現場にいい結果として結びついている現状があるのであれば、毎年必ず悉皆で統一、データを省として蓄積し、↗

教育現場の改善に努めて下さい。

○下村大臣、これは大変重要なことだと思います。そのために25年度は悉皆調査をします。26年度も抽出調査から悉皆調査に見直します。27年以降も継続的に悉皆調査を行い、より成果、効果が上る学習指導などのために資する材料として活用してまいります。

●山本、土曜日授業に関してですが、週休二日は自民党政権下で行ったのに、また、我々が土曜日授業も必要だ、というのは少しおかしな話だなと思います。

○義家政務官、現在、過去よりも教えるべき教科が増え、ハッピーマンデーの問題で月曜日の時間が潰れ、その振りかえで特別活動の時間が少くなり、現場の窮屈感が存在しています。正規の月 - 金のコマの中の一部として編入して認めてもらうような取り組みが出来ないか、という具体的な声も上がってきました。その上で、一年間の工程の中で実施していく仕組みを省内で検討しています。

●山本、現場の混乱がないように、子供たちが伸び伸びと学習できる環境を整えて下さい。

会議をするなら自由民主4区会館。



【自由民主4区会館】

JR鎌倉駅(西口)前にある自由民主4区会館は、山本ともひろの活動を支えるためだけに使うのではなく広く世に開放しています。2つの会議室を擁し、事前に予約をして頂ければ、ご利用頂けます。

但し、公職選挙法により無料で開放することが出来ません。従って右記の通り使用料を頂きます。

地域や町内の活動のための会議などにご活用頂ければ幸いです。定期的、或は商業目的にご使用になる場合はご相談下さい。



【第2会議室】



【第1会議室】

○自由民主4区会館 定員と使用料

種類と定員	使用料(円)		
	午前 9-12時	午後 13-17時	夜間 18-22時
第1会議室(15人)	1,000	1,000	1,000
第2会議室(15人)	1,000	1,000	1,000

住所: 鎌倉市御成町12-4 JR鎌倉駅西口前
TEL: 0467-38-6411

あなたの駅は何枚でしょう? ぼれぼれ通信 vol. 09

山本ともひろ後援会機関紙「ぼれぼれ通信」を4区内の右記の駅で朝の6:30~8:30までの2時間駅頭活動をさせて頂き本紙を配布させて頂いております。雨の日は、鞄と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動は行っておりません。

3月と4月の配布状況は右の通りです。皆様のご利用の駅はどのような状況でしょうか?

3月	駅名	枚数	4月	枚数	前月比
1日(金)	逗子駅	607	1日(月)	478	▲
4日(月)	新逗子駅	329	4日(木)	337	△
5日(火)	鎌倉駅(東口)	444	23日(火)	386	▲
6日(水)	鎌倉駅(西口)	450	24日(水)	378	▲
7日(木)	大船駅(西口)	626	22日(月)	451	▲
8日(金)	大船駅(モード学園口)	548	25日(木)	471	▲
11日(月)	大船駅(東口)	346	26日(金)	481	△
12日(火)	大船駅(笠間口)	579	5日(金)	571	○
18日(月)	本郷台駅	532	8日(月)	474	▲
15日(木)	港南台駅	200	9日(火)	125	▲
3月配布合計			4月合計	4,152	▲

私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせ、政治を志すきっかけとなりました。だから、その国の言葉を使うことにしました。twitterやFacebookのアカウントのpolepoleもその思いからです。本紙をどうか末永くご愛読の程よろしくお願い申し上げます。

ぼれぼれ通信の由来

「ぼれぼれ」とは、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意味。一度に全てを変えることは無理だけど、それでも諂めずにゆっくりでも、少しづつでも政治を変えていきたい。それを誰かが、やらなければ、この国は良くならない。その活動を本紙でご報告します。↗

・本部事務所 神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F TEL: 0467-39-6933 FAX: 0467-39-6943

・国会事務所 東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室 TEL: 03-3508-7193 FAX: 03-3508-3623

・自由民主4区会館 神奈川県鎌倉市御成町12-4 山田ビル3F TEL: 0467-38-6411

平成25年(2013年)5月13日発行 第10号 編集・発行 山本ともひろ後援会 ぼれぼれ通信製作委員会 鎌倉市大船1-6-6, 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943

※本紙は、隔月(1, 3, 5, 7, 9, 11月)発行の機関紙です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡下さい。またHPにも掲載しておりますのでご覧下さい。